

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【泰平中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)情報や問題を読み取り、問題や意図を理解する資質・能力 (2)情報や考えをまとめ、表現する資質・能力。 (3)自分の力で深く思考・考察し、判断する資質・能力。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)文章題の問題を作成し計画的に取り組み、授業の中で生徒自身に解説や説明の実施。【各単元の中で1回以上】 (2)ICTを活用し、自分の考えが伝わるように話す内容との整合に注意しながら資料等を活用させるような協同的な学習の実施。【各教科、各学期で1回以上】 (3)授業中においてICTを活用した共同編集、話し合い、ディスカッションを行う場面を意図的に設定し、思考を深める学習の実施。または、グラフや表・資料から読み取り、思考・判断する問題に多く取り組んだり、資料から正しく引用したりまとめることや授業内で自ら考える機会を意図的に計画し実施。【各教科、各学期で1回以上】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
		↓
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
↓	
学力向上策の 見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所